Honda基準の安全性能に、電気自動車ならではの配慮を。

すべての人の安全をめざして、「人間尊重」の企業理念のもと、規制を基準とすることに満足せず、
独自の安全基準を設けるHonda。フィットEVでは、アクティブセーフティからパッシブセーフティに至るまで
Honda基準の安全性能とともに、電気自動車に求められる性能を追求しています。

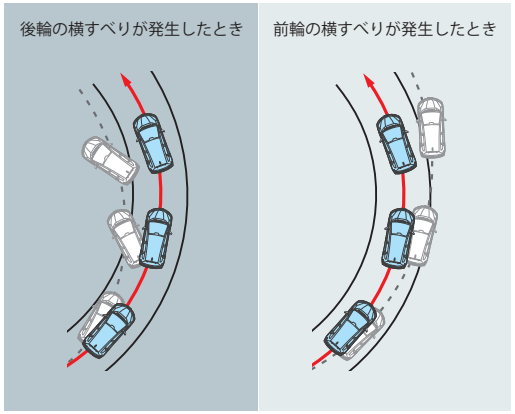
クルマの横すべりなどを効果的に防ぐVSA（車両挙動安定化制御システム）

ブレーキ時の車輪ロックを防ぐABS※1、加速時等の車輪空転を抑えるTCS※2、旋回時の横すべり抑制。3つの機能をVSA※3が制御し、ドライバーが予期しないクルマの挙動の乱れを防ぎます。

※1 4輪アンチロックブレーキシステム
※2 トラクションコントロールシステム
※3 VSA=Vehicle Stability Assist

■各技術の能力には限界があります。つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
■VSAは、あくまでドライバーのブレーキ操作やアクセル操作等を補助するシステムです。したがってVSAがない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、ムリな運転までは制御できません。安全運転をお願いします。

■作動イメージ図



歩行者に車両の接近を知らせる、車両接近通報装置。

エンジンのない電気自動車は静粛性が高く、低速走行時はさらに静かになります。車両接近通報装置は、時速約20km以下で走行している際に走行音を発し、歩行者に車両の接近を知らせ、注意を促します。

Honda独自の技術による、衝突安全設計ボディ。

衝突時の衝撃（G）をコントロールし衝突時の自己保護性能を高めるだけでなく、相手車両への攻撃性低減、歩行者への衝撃緩和を考えたボディ構造を採用しています。その上で、メインフレームとクロスメンバーによる井桁構造の骨格を採用。その中にバッテリーを配置することで、前後左右の衝突から保護します。また万一、衝突によって地絡状態に陥った際は、コンタクターが元電源ラインを遮断。高電圧から乗員を守ります。